

令和5年度 学校関係者評価

学校番号	69 (分)	学校名	天竜高等学校春野校舎	校長名	渡邊 二三彦
------	--------	-----	------------	-----	--------

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	御意見
ア	多様な生徒に対する学習指導体制を整え、基礎学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 授業の進度はちょうど良いと答える生徒の割合（90%以上） 先生は丁寧に教えてくれていると答える生徒の割合（90%以上） 先生は授業でICT機器（クロームブックやプロジェクター）を活用していると答える生徒の割合（80%以上） 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 幾度となく授業参観しているが、少人数制による効果が現れていると感じる。春野校舎の特色ある授業はPRポイントであり、基礎学力の向上に繋がっているものと思われる。
		<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習時間の平均（平日45分以上）（テスト前90分以上） 家庭学習時間調査（年4回実施） 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 1年生が今年度は31名と、2、3年生より多いが、それによる学習時間の変化はあるか？ →（回答）調査からみて、母数の増加による時間の変化はあまりない。
イ	基本的な生活習慣を身につけ、他者をいたわり、人間関係を大事にする心を養い、問題行動の未然防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 安心して落ち着いた学校生活を送っていると答える生徒の割合（85%以上） 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子がとても落ち着いているのでAでよい。
		<ul style="list-style-type: none"> 問題行動の件数を前年度より減少させる。（令和4年度1件1名） 	B	B	

様式第3号

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	御意見
ウ	生徒一人ひとりに寄り添い、よりよい進路を見つけ、その実現を図る。	・進路についての指導が適切になされていると答える生徒の割合 (85%以上)	B	A	・成果目標を充分達成しており、少人数制の特色であるきめ細やかな指導によるものと評価する。
		・進路講話や企業・学校 見学、進路ガイダンスを実施 (年3回以上)	A	A	・今年度はインターンシップを春野町で行った。
エ	環境を整え、部活動、特別活動、読書活動において、充実感が得られるよう指導する。	・部活動に積極的に参加し充実していると答える生徒の割合 (80%以上)	B	A	・部活動はほぼ全学年活動している。
		・学校行事が充実していると答える生徒の割合 (85%以上)	A	A	
		・朝読書の時間は読書に親しむのに役立っていると答える生徒の割合 (80%以上)	C	B	・朝読書が実施できなかったが、交通事情によるものであるため、今年度はやむを得ない。
オ	自己健康管理ができる生徒を育成するとともに、教育相談体制の充実を図る。	・保健関係たよりの発行 (月1回) ・生徒の状況把握調査 (年2回実施)	B	A	・成果目標を達成している。
		・先生は悩みや相談に親身になってくれると答える生徒の割合 (85%以上) ・生徒サポート委員会 (週1回程度開催)	A	A	
カ	地域・保護者との連携を推進し、信頼される学校づくりを行う。	・地域との交流やボランティア活動をしていると答える生徒の割合 (50%以上) ・春祭祭へのPTA役員出席 (90%以上)	B	A	・成果目標を達成している。

様式第3号

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	御意見
		<ul style="list-style-type: none"> ・春校だより発行 (年4回以上) ・HPの更新 (毎月4回以上) 	A	A	
		<ul style="list-style-type: none"> ・監査/検査の文書指示/指摘件数(0件) ・校内での事故/災害箇所(0件) 	A	A	
キ	地域資源を活用し、探究活動を通して社会性を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動を仲間と協力しながら主体的に行ったと答える生徒の割合(80%以上) ・校外での探究活動が有意義であったと答える生徒の割合(80%以上) 	A	A	
ク	校内の危機管理体制を整備するとともに、危機管理意識を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練実施 (年間3回) ・地域防災参加率 (60%以上) 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災訓練への参加は時期的なもの(テスト期間と重複)や地域による参加者指定等もあるため、やむを得ない。 ・危機管理意識の醸成は大変重要である。若いうちから自分の地域は自分たちで守るという意識を高めてほしい。
ケ	研修を通じて教職員の資質の向上を図るとともに、教職員の働き方改革を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修会の実施 年5回 	A	A	
		<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事根絶研修の実施(月1回) 	A	A	
		<ul style="list-style-type: none"> ・平均18:30までの退勤 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の休みが多い月曜日を定時退勤日としているが、個々の都合に合わせた自己申告等による退勤日設定もある。